

私たちにも、できることがある。

2013年8月20～23日；宮城県東松島市における交流ボランティア

～四日市東日本大震災支援の会 第18回派遣～

大学生（最終版）2013年7月25日

四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文(四日市大学教員)

震災から2年半がたとうとしています。われわれが継続的に支援をしている宮城県東松島市では、ようやく復興への動きが見られるようになりましたが、まだ多くの方が仮設住宅で不自由な暮らしをしています。今回の派遣では、仮設住宅での交流会開催と、三重と宮城の大学生が12月に交流するための現地調整を目的に派遣を行います。大学生としての東北支援のあり方を考え、同時に三重県における防災に大学生がどのような貢献ができるのか、考える機会にしたいと考えます。

<活動の概要>

■被災地視察

壊滅的被害を受け移転した東松島市野蒜地区の鳴瀬第二中学、津波で全世帯が被災して300名以上が亡くなった東松島市大曲浜、小学生74名が犠牲になった石巻市大川小学校を視察の予定です。母校や自宅を失った被災者の気持ちを知り、被災者に寄り添って支援を続けることの必要性や重要性を学びます。

■仮設住宅交流会

東松島市の400世帯以上が不自由な暮らしをしている矢本運動公園仮設住宅で、仮設住人300名を招待して焼きそば&BBQ交流会を開催します。仮設住宅では、自宅を失ったり家族を亡くしたりした被災者が、さまざまな場所から集まって、狭くて不便な部屋で不自由な生活をされています。被災から時間がたち、今また気持ちが落ち込むことが多いとも聞きます。大学生の若いパワーで被災した皆さんに元気を与えられるよう、頑張りましょう。

■仮設住宅生活体験

矢本運動公園仮設住宅の集会所で宿泊し、仮設住宅での暮らしを体験する。翌朝は、炊き出し研修を兼ねた炊飯とレトルトカレーで食事をとります。

■宮城県内の大学・専門学校への訪問・調整

12月派遣での交流ワークショップの開催に向け、宮城県内の大学・専門学校とコンタクトを取り、この派遣でキックオフ会合を持つ。今回の派遣では、被災体験などについて簡単なヒアリングなどを行うとともに、12月派遣で行うワークショップのテーマや交流企画などについて話し合いを持つ。

★申込方法・参加費（大学生）

申込：以下の情報・書類を学校で取りまとめます。

★氏名・フリガナ・性別・生年月日・郵便番号・住所・携帯番号・緊急連絡先

★保護者と参加者本人がサイン・捺印した**参加同意書を提出**してもらいます。

参加費：13,000円（スタッフは6,000円）

<費用の内訳>

- ・四日市大学ー宮城県の往復バス・現地での移動
- ・食事5食；21日の昼食・夕食、22日の朝食・昼食、23日朝食（その他は各自負担）
- ・入浴2回分
- ・ボランティア活動保険・旅行保険

<分割払い>

- ・スタッフは6,000円を一括払い
- ・13,000円のうち6,000円を出発前に、残りの7,000円を11月末までに支払う

申込先・参加費支払先（締切；終業式）

★四日市大学は鬼頭まで、看護医療大学は水野まで。

★問合せ先：鬼頭；携帯電話：090-4266-2348 メール：kito@yokkaichi-u.ac.jp

がんばろう、
日本。

<スケジュール概要>

- 8月20日(火曜): 18:00 四日市看護医療大学 40B 教室集合、事前打ち合わせ
⇒19:00 出発(四日市大学バス停)
- 8月21日(水曜): 宮城県東松島市~激甚被災地を視察(鳴瀬第二中学、野蒜地区、大川小学校など)
⇒ 矢本運動公園仮設で降車、荷物の搬入
⇒ 11:00~東松島市の被災して営業再開したレストランみちのくで昼食
⇒ 午後は見守りとイベント告知を兼ねた戸別訪問、BBQ 準備(テント設営)
⇒ 夕方から BBQ 交流会
⇒ 元気の湯で入浴
⇒ 1日目の振り返りミーティング
⇒ 仮設住宅生活体験(集会所で宿泊します)
- 8月22日(木曜): 6:00 起床、炊き出し訓練を兼ねた朝食(テントの撤収)
⇒ 9:00~看護は大学・専門学校を訪問、四日市大学は片付けと被災者再訪問
★看護仙沼 G、看護石巻・仙台 G、四日市大学 G に分かれて行動
⇒ 17:00 現地出発
⇒ 仙台で入浴 ⇒ 帰路に
- 8月23日(金曜): 朝7時頃に四日市大学帰着、朝食、片付け
⇒ 9:00 より、公開で振り返りプレゼン
★高校・大学の教員などにオブザーバー参加を告知、マスコミ取材も受け入れる
⇒ 11:00 頃解散

<持ち物(バス内では、座席には最小限の荷物だけを持ち込むこと)>

- ・筆記用具(活動中に記録をとる小さなメモ帳は必ず用意してください)
- ・健康保険証・常備薬・歯磨きセット
- ・お金(親戚やお友達などに、たくさん土産を買ってくることも、大きな経済的支援です)
- ・かさ・帽子・電池式携帯充電器
- ・エプロン(BBQ 交流会では、全員が着用します)
- ・ボランティア活動保険証書(支援の会で加入し当日渡します。加入済みの人は持ってきてください)
- ・マクラ・クッション・バスタオル(肌掛け布団代わり)など(バス移動と集会所宿泊に利用)
- ・入浴用タオル、着替え(現地で2回入浴します)、ビニール袋 ★往復のバスではトランクに入れる

<注意点、守るべきこと>

- ・被災者の気持ちに寄り添い、傷つけるような言動をしないこと
- ・積極的に被災者に対し、家族や友人、お姉さん、お兄さんのように笑顔で接しましょう
- ・家族を失ったり、家を流されたり、被災者が大変な経験をしていることを常に忘れないでください
- ・指示されたことだけでなく、自分で考えて行動しましょう
- ・名前や職業・住所を聞くことは、基本的に NG です。深い絆ができれば、交換も OK です。
- ・写真撮影は深い絆ができてからにしましょう
- ・活動中の写真や映像が、ホームページや報道で使われることがあります。了承ください。

<高速バス運行体制>

本会の東北派遣では、費用よりも安全という考え方を徹底しており、運転手2名体制での運行、運転手の現地での十分な休息確保をしております。そのため、現地での活動で不便なことがあります。ご了承ください。今後も、さらに安全運行を徹底するよう、会としても努力を続けます。

* JTB 総合提携店(株)第一観光(担当; 黒田真史)を通じ、名阪近鉄バスで宮城県を往復します。